

5.3 科学研究費など外部資金

a. 研究課題 b. 研究代表者 c. 金額

(1) 日本学術振興会

(1.1) 基盤研究

(1.1.1) 基盤研究 (B)

a. 太陽白色光フレアと太陽型星スーパーフレアの比較研究

b. 柴田一成

c. 平成 25 年-27 年 (総額 14,700,000 円) 平成 26 年度: 5,200,000 円

(1.1.2) 基盤研究 (B) 分担者

a. 太陽フレア・トリガ機構の解明とその発生予測

b. 代表: 草野 完也 (名古屋大学) 分担: 浅井 歩

c. 500,000 円

(1.1.3) 基盤研究 (C)

a. チューナブルフィルターを用いた彩層偏光観測装置開発

b. 萩野正興

c. 1,000,000 円

(1.2) 若手

(1.2.1) 若手 (B)

a. 太陽フレアに伴うコロナ擾乱現象の観測的研究

b. 浅井歩

c. 平成 24 年-26 年 平成 26 年度: 700,000 円

(1.2.2) 若手 (B)

a. Determining the Plasma Parameters of Solar Prominences

b. Andrew Hillier

c. 平成 25 年-27 年 (総額 2,900,000 円) 平成 26 年度: 800,000 円

(1.3) 特別研究員 奨励費

(1.3.1) 特別研究員 奨励費 (DC)

a. 太陽フレアを活発に起こす黒点形成メカニズムの解明

b. 高棹真介

c. 900,000 円

(1.4) 研究成果公開促進費「データベース」

a. 京都大学太陽全面シノプティック観測画像データベース

b. 上野悟

c. 2,600,000 円

(2) 京都大学

(2.1) 融合チーム研究プログラム (SPIRITS)

a. 京大宇宙地球科学の黎明期の研究

(A Study of the Early Phase of Astronomy and Earth Sciences at Kyoto University)

b. 柴田一成

c. 平成 26 年度 総額 1,139,000 円

(3) 名古屋大学太陽地球環境研究所

(3.1) 地上ネットワーク観測大型共同研究

(3.1.1)

- a. 飛騨天文台 SMART 望遠鏡と SDO/Hinode 衛星の相補的光球磁場観測に基づくコロナ磁場モデリングスキームの開発
- b. 永田伸一
- c. 632,000 円

(3.1.2)

- a. 太陽撮像観測データによる太陽紫外線放射の推定および超高層大気変動との比較
- b. 浅井歩
- c. 631,000 円

(3.1.3)

- a. ISWI&CAUSES-II 事業として推進してきた太陽地上ネットワーク観測のデータを用いた太陽地球間環境変動に関する国際共同研究
- b. 柴田一成
- c. 407,000 円

(3.2) 所外データベース作成共同研究

- a. 太陽フレアの高空間・時間分解撮像観測データの蓄積と解析環境の整備
- b. 一本潔、増田智
- c. 117,000 円

(3.3) 研究集会経費

- a. 太陽研連シンポジウム「サイクル 24 極大期の太陽活動と太陽研究の将来展望」
- b. 一本潔
- c. 390,000 円

(4) 国立天文台

(4.1) 共同開発研究

- a. 狭帯域チューナブルフィルターによる高速撮像分光装置の開発
- b. 一本潔
- c. 3,500,000 円

(4.2) 共同研究

- a. 分光ミューラー行列測定装置のソフトウェア開発
- b. 萩野
- c. 200,000 円

(5) その他

(5.1) 文部科学省

- a. 宇宙科学技術推進調整委託費
- b. 柴田一成
- c. 平成 25 年-27 年 (平成 26 年度: 9,633,000 円)

(6) 特許

- a. 村主崇行, 磯部洋明, 柴山拓也, 羽田裕子, 柴田一成, 浅井歩, 中村裕一, 根本茂, 駒崎健二
- b. 機械学習によるアルゴリズムを用いた太陽フレア予報システム
- c. 特願 2014-153706 号 (2014) 出願中